



2023年11月24日

報道関係者各位

慶應義塾

第712回三田演説会（12/21）
ヴィクトリア朝の岩倉使節団
－幕末維新时期における文化接触と〈知〉をめぐる旅－
太田 昭子慶應義塾大学名誉教授

三田演説会は慶應義塾で1874（明治7）年に始まり、2015年7月に第700回を数えました。12月21日（木）に第712回三田演説会を開催し、「ヴィクトリア朝の岩倉使節団－幕末維新时期における文化接触と〈知〉をめぐる旅－」と題して、太田 昭子 慶應義塾大学名誉教授が講演します。

つきましては、本演説会のイベント欄へのご掲載、およびご取材をよろしくお願いいたします。

1. 開催概要

- (1) 日 時：2023年12月21日（木） 14時45分～16時15分（開場14時00分）
- (2) 講演者：太田 昭子
（慶應義塾大学名誉教授）
- (3) 演 題：「ヴィクトリア朝の岩倉使節団－幕末維新时期における文化接触と〈知〉をめぐる旅－」
1860年代～1870年代は、幕末維新时期の日本だけでなく、世界各国にとっても激動の年代だった。日本人が海外渡航できるようになり、異文化交流が多様化していった1860年代以降、彼らは何をどのように獲得・理解し、日本に伝えようとしたのか。そこで知識はどのように〈知〉へ昇華していったのか。本講演では、岩倉使節団のイギリス滞在を中心に、日英双方の視点からこれらを探る。
- (4) 会 場：慶應義塾大学（三田キャンパス）三田演説館
東京都港区三田2-15-45
- (5) 交 通：JR山手線・京浜東北線 田町駅下車（徒歩約8分）
都営地下鉄浅草線・三田線 三田駅下車（徒歩約7分）
都営地下鉄大江戸線 赤羽橋駅下車（徒歩約8分）
<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>

(6) 参加：入場無料・ウェブフォームから事前予約 ※定員に達し次第、受付終了予定

<https://forms.gle/FEaX9RSkK3CW3BIJA>

※座席は、当日先着順となります。

2. 講師プロフィール

〔略歴・役職〕

慶應義塾大学名誉教授。

1981年、東京大学教養学部教養学科卒業、1986年、同大学大学院総合文化研究科比較文学比較文化専攻課程単位取得退学。東京大学助手、慶應義塾大学法学部専任講師、助教授を経て、2001年教授。2022年より慶應義塾大学名誉教授。この間、アメリカ(プリンストン大学)、イギリス(ケンブリッジ大学)で在外研究(客員研究員)。

専攻領域：日英関係史・近代日本対外交流史。

〔主要著書〕

『ヴィクトリア朝の福澤諭吉と岩倉使節団』(単著、慶應義塾大学法学研究会 2023)

『岩倉使節団の比較文化史的研究』(共著、思文閣出版、2003)

『アジアの比較文化』(共著、科学書院、2003)

『近代日本の内と外』(共著、吉川弘文館、1999)

『テキストの発見』(共著、中央公論社、1994)

3. 三田演説会について

三田演説会は、福澤諭吉を中心に小幡篤次郎、小泉信吉など10余人の義塾の先進者たちによって、演説、討論の研究錬磨の場として1874(明治7)年6月27日に発足し、翌年、日本最初の演説会堂である三田演説館が完成しました。スタイルや話題は変わっても、福澤諭吉の精神は時を超えて三田演説会に脈々と受け継がれています。三田演説館は1967(昭和42)年、国の重要文化財に指定されています。

福澤は、「演説とは英語にて『スピーチ』と云ひ、大勢の人を会して説を述べ、席上にて我思ふ所を人に伝るの法なり」(『学問のすゝめ』十二編)と述べています。演説という概念はその当時の日本には存在せず、多くの聴衆の前で自分の意見を述べるという「演説」を実践しながら、試行錯誤の末に創造されました。経緯は『三田演説日記』などの記録に記されていますが、演説の練習を行うにあたり「決して笑ってはならない」と取り決めたというエピソードが「演説会」創始の苦心を端的に物語っています。

また、福澤は「演説」「討論」などの言葉も創り出しています。「演説」は「スピーチ」の訳語ですが、福澤の出身藩である旧中津藩で藩士が藩庁に対して意思を表明するために用いた「演舌書」という書面に由来します。「舌」という語句は俗的であったために「説」に換えたと福澤本人が述べています。

旧来の言葉に「スピーチ」という新しい意味と実体を与えたことに大きな意味があったとされています。さらに「ディベート」の訳語を「討論」と定め、「否決」「可決」などの用語が決められました。

*本資料は文部科学記者会、新聞各紙社会部・文化部、イベント欄担当等に送信しております。

*ご取材に際しては、事前に下記【広報室】までご一報下さいませようお願い申し上げます。

【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾広報室(豊田 玲)

TEL 03-5427-1541 FAX 03-5441-7640

Email m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>

【本イベントに関する問い合わせ先】

慶應義塾総務部総務担当

TEL 03-5427-1515